

# アジアパシフィックシステム総研株式会社

ASIA PACIFIC SYSTEM RESEARCH Co.,Ltd.

2009年9月期第3四半期 決算報告

2009.7.22

## I 連結業績サマリー

◆ 業績の概況	01
◆ 資産の概況	02
◆ 品目別売上	03
◆ 業種別売上	04

---

## II 今後の施策と業績予想

◆ 市場動向に対する認識	05
◆ 今後の施策	06
◆ 連結業績予想	07

---

## III 補足資料

◆ 会社概要	08
◆ 注意事項	09

# I - 01 業績の概況

単位：百万円未満切捨

	2008年9月期 第3四半期(累計)		2009年9月期 第3四半期(累計)		前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	5,588	100.0%	4,875	100.0%	△ 712	-12.8%
売上原価	4,568	81.8%	4,092	83.9%	△ 476	-10.4%
売上総利益	1,019	18.2%	783	16.1%	△ 236	-23.2%
販売費及び一般管理費	850	15.2%	890	18.3%	39	4.7%
営業利益	169	3.0%	△ 106	-2.2%	△ 275	-163.3%
経常利益	179	3.2%	△ 93	-1.9%	△ 272	-152.0%
四半期(当期)純利益	145	2.6%	△ 77	-1.6%	△ 223	-153.3%

売上高は、景気悪化の影響により受注環境が厳しくなる中、既存取引先との連携強化やキヤノングループのチャネル活用等、受注活動に注力したものの、金融・製造業界向けのシステム開発・保守・運用案件の減少を補うことができず、前年同期比12.8%の減少となりました。

営業利益は、売上高の減少と販売費及び一般管理費の増加により、前年同期比で275百万円の減少となりました。一般管理費の増加要因として、セキュリティ対策、内部統制の整備と強化に伴うコスト増と新設会社(日本NonStopイノベーション社)の人員増強によるコスト増が挙げられます。

四半期純利益は、上記営業利益の減少と当社親会社キヤノン電子株式会社との資本業務提携に係る手数料117百万円を特別損失として計上したことにより、前年同期比153.3%の減少(223百万円減少)となりました。

## I - 02 資産の概況

単位：百万円未満切捨

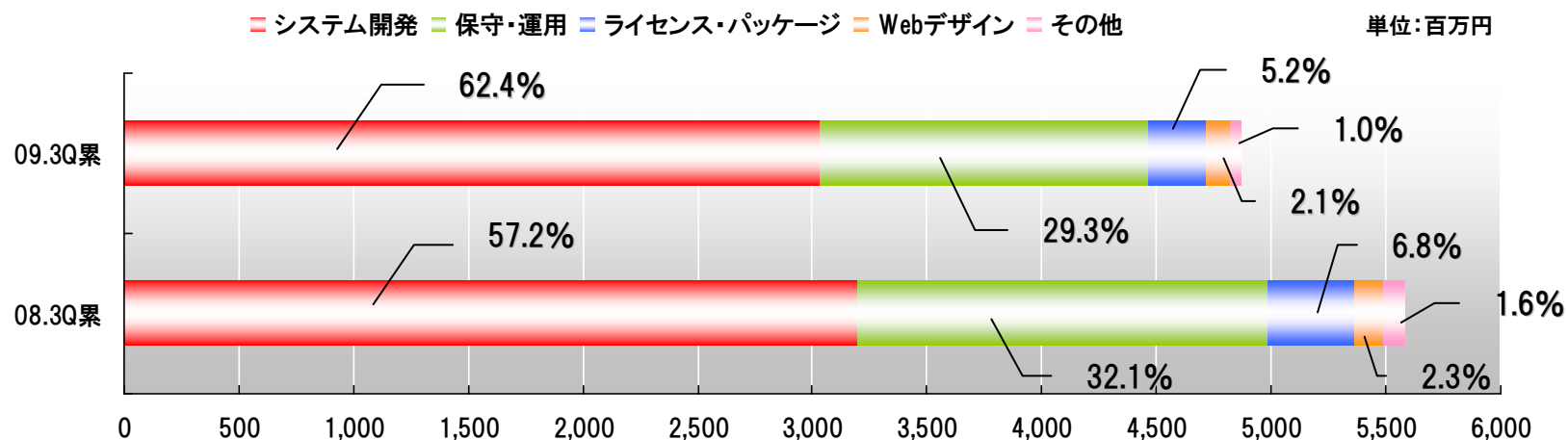
	2008年9月期 第3四半期		2008年9月期		2009年9月期 第3四半期		前期末比	
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
流動資産	5,588	88.3%	5,688	88.6%	5,498	87.7%	△ 190	-3.3%
現金及び預金	4,280	67.6%	3,994	62.2%	3,758	59.9%	△ 236	-5.9%
棚卸資産	318	5.0%	250	3.9%	582	9.3%	△ 331	132.4%
固定資産	743	11.7%	733	11.4%	773	12.3%	39	5.4%
無形資産	522	8.3%	499	7.8%	535	8.5%	36	7.2%
その他	220	3.5%	234	3.6%	237	3.8%	3	1.5%
総資産	6,331	100.0%	6,422	100.0%	6,271	100.0%	△ 150	-2.3%
有利子負債	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	-
純資産	5,209	-	5,346	-	5,171	-	△ 174	-3.3%
自己資本比率	81.6%	-	82.6%	-	82.2%	-	-	

自己資本比率は82.2%、有利子負債もない状態であり、非常に強固な財務基盤を維持しております。また、現預金は3,758百万円あり、高い流動性を確保しております。

# I - 03 品目別売上

単位:百万円未満切捨

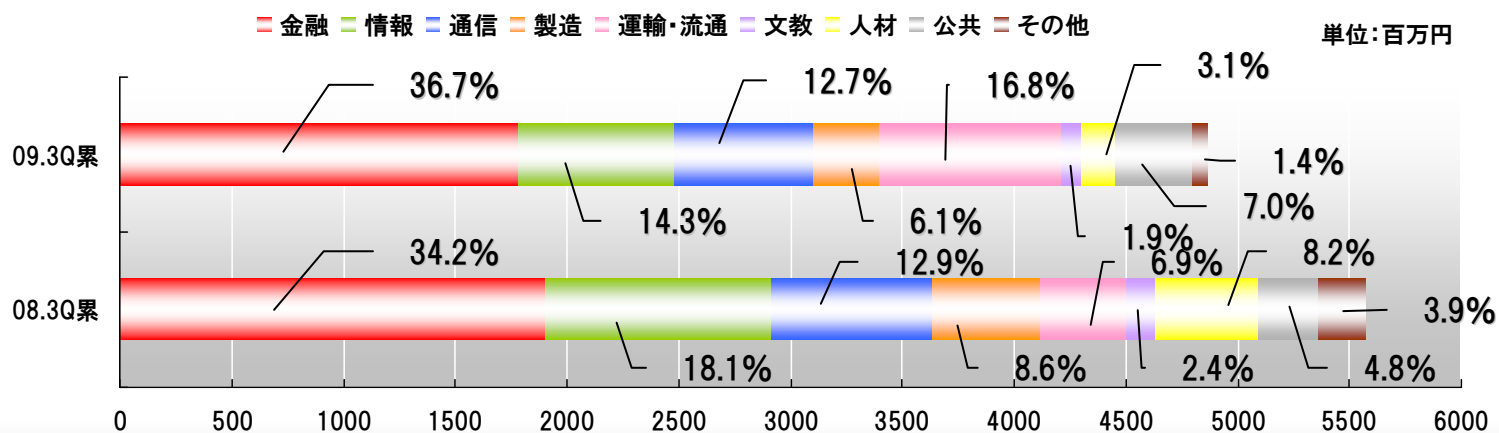
	2008年9月期 第3四半期		2009年9月期 第3四半期		前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	5,588	100.0%	4,875	100.0%	△ 712	-12.8%
システム開発	3,199	57.2%	3,041	62.4%	△ 158	-4.9%
保守・運用	1,793	32.1%	1,428	29.3%	△ 365	-20.4%
ライセンス・パッケージ	378	6.8%	255	5.2%	△ 123	-32.6%
Webデザイン	129	2.3%	101	2.1%	△ 27	-21.5%
その他	87	1.6%	49	1.0%	△ 38	-43.4%



# I - 04 業種別売上

単位:百万円未満切捨

	2008年9月期 第3四半期		2009年9月期 第3四半期		前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	5,588	100.0%	4,875	100.0%	△ 712	-12.8%
金融	1,910	34.2%	1,789	36.7%	△ 120	-6.3%
情報	1,013	18.1%	696	14.3%	△ 316	-31.3%
通信	721	12.9%	620	12.7%	△ 100	-14.0%
運輸・流通	384	6.9%	818	16.8%	434	113.0%
人材	460	8.2%	151	3.1%	△ 308	-67.1%
公共	270	4.8%	342	7.0%	72	26.7%
製造	479	8.6%	296	6.1%	△ 183	-38.3%
文教	132	2.4%	91	1.9%	△ 41	-31.4%
その他	215	3.9%	69	1.4%	△ 146	-67.8%



### ◆ 情報システムは必要不可欠な機能となっている

近年、情報システムが経済・社会の基盤として必要不可欠な機能となっている状況のなかでは、ITバブルが崩壊した頃のような急激な情報産業の低迷はないものと認識しておりますが、世界的な景気悪化の影響により、企業の情報システム投資予算の絞り込みが行われており、ここ数ヶ月の間に情報システム開発の受注環境は非常に厳しくなっております。

そのため、当社の主要事業であるシステム開発・運用・保守に該当するITサービス市場の2009年の市場動向は、前年比成長率はマイナスとなる可能性が高まっております。

### ◆ 十分分散された顧客ポートフォリオを構築

金融危機の影響を大きく受けた業界の案件減少は避けられないものの、当社は十分に分散された顧客ポートフォリオを構築しているため、比較的安定した事業基盤を有しております。

### 今期経営方針

景気回復期に大きな飛躍を遂げるため、景気悪化懸念が高まるこの期間を、企業基礎体力の強化期間と位置づけております。



### 今後の施策

- ・既存取引先との連携の強化
- ・受注競争力強化のため、新ソリューションの構築
- ・キヤノン電子グループとの協業推進
- ・優秀な人材の採用と育成の強化
- ・品質マネジメントシステムの構築
- ・情報セキュリティ管理の強化
- ・コンプライアンス推進の強化

## II - 07 連結業績予想

単位：百万円未満切捨

	2008年9月期(連結)		2009年9月期(連結)		前期比	
	実績	構成比	予想	構成比	増減額	増減率
売上高	7,628	100.0%	8,250	100.0%	621	8.2%
営業利益	307	4.0%	285	3.5%	△ 22	-7.2%
経常利益	320	4.2%	300	3.6%	△ 20	-6.5%
当期純利益	289	3.8%	165	2.0%	△ 124	-43.0%

連結業績予想につきましては、平成20年11月4日に公表いたしました平成20年9月期決算短信に記載の業績予想から変更はありません。

### Ⅲ- 08 会社概要

商号	アジアパシフィックシステム総研株式会社 ASIA PACIFIC SYSTEM RESEARCH Co.,Ltd.
設立	1970年4月
決算期	9月末日
主な事業の内容	情報処理サービス業
本社	東京都豊島区
代表取締役社長	内山 毅
会長	鈴木 善昭
取締役	江崎 博 佐藤 秀行 平林 正基
監査役	萩原 哲雄 中島 義雄 原 恒夫 清水 栄一
資本金	23億9,991万円(2009年6月末現在)
主要株主	キヤノン電子株式会社
発行済株式数	900万2千2百株(2009年6月末現在)
従業員数	592名(連結)(2009年6月末現在)
拠点	本社(東京)、関西支社(大阪)、九州支社(福岡)、沖縄支社
連結子会社	・株式会社ソリューション開発 ・日本NonStopイノベーション株式会社

本資料で記述されている内容は、アジアパシフィックシステム総研株式会社の現時点に関する入手可能な情報に基づき、一部主観的な前提をおいて合理的に判断したものであるため、様々な要因の変化により、将来の結果は大きく異なる可能性があります。